

ハクセル美穂子の
ポリティカル・テーマ

Growing
Together!
みんなで創る「いわて」

いわて
県政レポート
2023
夏号

岩手県議会議員

ハクセル 美穂子

MIHOKO
HUXEL

100年先も
「いわて」が「いわて」であるように、
みんなで創る「いわて」



ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ
◎家族/アメリカ人の夫、4人の息子(高2、中3、中2、小5)
◎職業/英会話教室経営
◎趣味/読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり
◎学歴/雫石町立御明神小学校[S62卒]・雫石町立雫石中学校[H2卒]・盛岡第四高等学校[H5卒]・岩手大学農学部[H9卒]
◎経歴/平成9年 雫石町役場入庁
平成17年 夫とともにアメリカへ移る
平成18年 (株)Shady Grove Intl設立 代表取締役就任
平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選
令和元年9月 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区2期目の当選

f ハクセル美穂子オフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/mihokopage/>



2期8年を振り返って「ごあいさつ」

岩手県議会滝沢選挙区初の女性県議会議員として選挙に当選してから、もうすぐ8年の月日が経とうとしています。

初当選当時、小学3年生だった長男は今年高校2年生になり、4人の息子のうち3人がすでに私の身長を追い越しました。息子たちが進学するたびに、私も親として新しい世界を体験し、自分の子どもの成長を見守る中で子育て中のご家族が直面する課題を身近に感じながら政策を提言することができた8年間でした。

県民の皆さまのお声をお聞きすることが県議会議員の最も大切な役目ととらえ、たくさんの方々から貴重なご意見をいただきました。そしてそれをもとに多くの政策を提言し、裏面でご紹介しているような実績を積み重ねることができました。これらの成果は、皆さまからの率直なご意見があって初めて成し遂げることができたものです。家庭生活と議員活動の両立に取り



1期目

組む私を見守り支え、また、貴重なご意見をくださいました多くの皆さまのご支援とご協力に対しまして、心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

これまでの8年間、私は、岩手県で健やかに子どもたちを育てていけるように、県行政の事務的手続きの簡素化や支援の充実を提言してまいりました。また、岩手県で働く皆さまの生活を支える農林水産業、中小企業の支援など県内産業の成長を促していく取り組みにも力を注いできました。

これから先も、これら政策をさらに磨き上げ、県民の皆さまが安心して暮らしていくことができる岩手県をつくるために、議員活動に励んでいくことをここにお誓い申し上げます。

100年先も「いわて」が「いわて」であるように、生きる喜びを感じられるより良い岩手県を一緒につくっていきましょう!



3期目を指して

みんなでつくる「いわて」!

ハクセル美穂子

MIHOKO HUXEL

2期8年のあゆみ ハクセル美穂子

実績1



**小児予防接種の広域化
【岩手県広域接種パスポート】が
実現しました。**

予診票、広域接種パスポート、母子手帳の3つがあれば、県内の協力医療機関でスムーズに定期予防接種を受けることができる仕組みを作りました。住んでいる市町村以外の小児科で定期予防接種を受けるための面倒な手続きを簡素化することで、県内どこに住んでいても適切な医療を受けることができる体制整備が進みました。

実績3



**岩手県庁に県庁内保育施設
「うちまる保育園」ができました。**

小さなお子さんを育てながらも、仕事やキャリアをあきらめない働き方を県内に広めるため、県庁内保育所の設置を働きかけました。岩手県庁内保育施設「うちまる保育園」は近隣の事業で働く方のお子さんもお預かりすることができる地域と連携した保育園です。定員18名の小さな保育園ですが、共働きのご家庭の力になってくれる強い味方です。

実績5



**ICT機器を活用した多様な
学習機会の確保が進みました。**

コロナ禍の学習機会を確保するため県内の公立私立の小中学校に児童生徒一人一台タブレット端末が整備されました。これは、国のGIGAスクール構想によって全国一斉に整備が進んだものです。今回整備された一人一台端末の利活用を進め、不登校児童生徒や医療ケア児など、学校に行くことができない児童生徒の多様な教育機会をつくることにも今後は力を尽くしていきます。

実績7



**岩手県
県産木材利用
促進条例を
制定しました。**

木材産業など地域の経済を支える岩手の森林資源について県民一人一人が主体的に考え、積極的に県産木材等を利用することで県民の豊かな暮らしを創造していくことを目標に岩手県県産木材利用促進条例を議員提案で制定しました。この条例を制定することによって、県産木材が県内のいろいろな公共施設、そして住宅建築にも活用される流れがつけられました。

実績9



**市町村要望のあり方が
改善されました。**

知事はもっと市町村の首長とコミュニケーションをとって、県と市町村の連携を強化して人口減少や少子高齢化の課題解決に取り組むべきであると提言をし続けた結果、令和5年度の市町村要望には岩手県知事ができるかぎり出席することになりました。

実績2



**隣接する市町村の病児保育施設も
利用できる仕組みができました。**

お隣同士の市町村が連携協定を結び、互いの病児保育施設が利用できるようになりました。病児保育事業は、基本的に市町村が住民に対して実施しています。これまでは自分の住む市町村の病児保育施設に利用が限られていましたが、連携協定をむすびあった市町村は交互に施設が利用できるようになり、子育て支援の拡充に繋がりました。

実績4



**子どもの医療費助成制度が
改善されました。**

子どもの医療費助成制度の利便性が改善されました。子どもの医療費助成は、市町村が財源確保の努力を重ね、助成の拡充がなされています。岩手県は現物給付の仕組みを県内統一的に運用するための支援を行い、窓口での支払い無しで医療を受けることができるようになりました。今後も引き続き、県の助成要件の拡充を提言していきます。

実績6



**農産物の高付加価値化に
取り組みました。**

食品加工工場の誘致に雫石町とともに取り組みました。その結果、雫石町長山地区へ菊の司酒造の本社工場が移転、雫石町の酒米と岩手山の伏流水を使用したお酒の製造販売が実現しました。地域でつくられた農産物を地域にある食品加工工場に供給し、農産物に付加価値を付けて県外・国外へ販路を広げることは、岩手の農林水産業を担う大切な取り組みであると考えています。

実績8



**農地の
大区画化による
農業基盤整備の
促進に
取り組みました。**

農地の大区画化を図る農業基盤整備事業が県内でさらに進んできました。岩手県で持続可能な農業を続けていくためには、農地の集積とスマート農業による省力化が不可欠です。基盤整備の実施にむけた地域の皆さんの対話を支え、県・市町村・地域が一体になって更なる農業基盤整備に取り組みます。

実績10



**地域の道路環境が
改善されました。**

築50年を超え耐久性に課題のあった昇瀬橋の改修工事、道路幅が狭く凹凸で歩きにくかったよしゃれ通りの側溝をフラット化、県道東八幡平線の歩道整備など地域の暮らしを支える河川や道路インフラの改修・整備を、県と市町村が一体となり事業遂行に結びつけることができました。

